

ISO通信 2018 6月号

— ISO マネジメント研究所の事務所通信 —

2018年6月29日発行

発行責任者 人見 隆之

ISOマネジメント研究所

〒279-0026 浦安市弁天 1-21-8-204

E-mail: info@iso-mi.com

<https://www.iso-mi.com>

最近のISOに関する情報を中心に、
企業経営に役に立つ情報、組織内で使えるような
話のネタなど独自に厳選してお伝えします。

ニュース



労働安全衛生マネジメントシステムに係る JIS 制定案に関する意見募集

6月8日、厚生労働省労働基準局は、今年10月に、労働安全衛生マネジメントシステムの要求事項として制定予定である、JISQ45001の制定案に関する意見の募集を告知した。JISQ45001に追加要求事項を入れたJISQ45100(45001α)の案も公開されている。ちなみに、OHSAS18001からISO45001への移行期間は、2018年3月12日から3年間である。

■ JIS Q 45001:2018 (労働安全衛生マネジメントシステムの要求事項)

4 組織の状況	7 支援
4.1 組織及びその状況の理解	7.1 資源
4.2 働く人及び利害関係者のニーズ及び期待の理解	7.2 力量
4.3 労働安全衛生マネジメントシステムの適用範囲の決定	7.3 認識
4.4 労働安全衛生マネジメントシステム及びプロセス	7.4 コミュニケーション
	7.5 文書化した情報
5 リーダーシップ及び働く人の参加	8 運用
5.1 リーダーシップ及びコミットメント	8.1 運用の計画及び管理
5.2 労働安全衛生方針	8.2 緊急事態への準備及び対応
5.3 組織の役割、責任及び権限	
5.4 働く人の協議及び参加	9 パフォーマンス評価
	9.1 モニタリング、測定、分析及びパフォーマンス評価
6 計画	9.2 内部監査
6.1 リスク及び機会への取組み	9.3 マネジメントレビュー
6.2 労働安全衛生目標及びそれを達成するための計画策定	10 改善
6.3 変更の計画	10.1 一般
	10.2 イベンツ、不適合及び是正処置
	10.3 継続的改善

・ 詳細

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495180051&Mode=0>

今月の言葉

あらゆる組織が、「人が宝」という。
ところが、それを行動で示している組織はほとんどない。

出典：『プロフェッショナルの条件』ピーター・F・ドラッカー

仕組みがなければ、継続して成果を出すことは難しいですし、うまくい仕組みがあっても、結局、その仕組みを動かすのは人ですから、人と仕組みは、両輪だともいえます。人が宝だとしたら、その宝はどんな宝なのか、いわゆるその人の長所を見出してあげること組織にとっては必須の取組みだと思います。どんな人にも、長所はあるはずですから、それがうまく見出せず、活用されないのは、宝の持ち腐れといえます。

マネジメントシステムで会社を変える

- 現場目線で考える文書の必要性 -

先日、あるISOの規格セミナーにおいて、規格策定のエキスパートでもある講師の方はこんなことをいっていました。一連の品質不祥事の一因には、品質マニュアルに、具体的なことが書いていないからである、というようなことを述べていました。品質マニュアルは、2015年改正によって、要求事項ではなくなりましたが、ほとんどの組織ではこれを作成しています。審査でも、この品質マニュアルの内容の程度が議論されることがありますが、品質マニュアルは、運用のための手段でしかありません。実際のところ、中小企業であれば、文書で動くというよりも、日常使用する現場の帳票やメール、ミーティング、これらで動きますので、これらをよく活用していくことがQMSのレベルにつながるのだと思います。

QC検定 3級にチャレンジ!!

※解答は、<https://www.iso-mi.com/article/15968516.html>

問：次の文章で正しいものには○印を、誤っているものには×印を記入せよ。

1. 工程の順序、管理項目、管理値、管理方法を定め文書化する必要があるが、この管理用文書を一般にQC工程図と呼ぶ。[]
2. 人間はミスをするという前提に立ち、ミスが起きないように対策することをフェールセーフまたはポカヨケという。[]

出典：第20回 品質管理検定3級 問16、改編

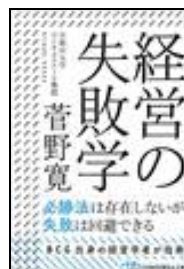
編集後記

日本中で盛り上がりつつあるかどうかは、今、ひとつピンとこないのですが、サッカーワールドカップ、日本代表は、決勝トーナメントの進出を決めました。試合をするまでは、急な監督変更などもあった、バッシングされてきたようですが、今では、手のひら返して賞賛の嵐です。所詮、世間の評価はあてになりませんね。



奈良に出張に行ったついでに立ち寄った奈良の若草山にいた鹿です。

今月の1冊



書名：『経営の失敗学』

著者：菅野 寛

発売日：2018年4月

出版社：日経ビジネス人文庫

「当たり前のことを怠って失敗するビジネスがいかに多いか、成功はパターン化できないので、他社のモノマネをしても成功はしない」、これが著者は言いたくて本にしたそうです。失敗はある程度パターン化できるというのが本の趣旨で、本書では、そのパターン化について、事例も入れて説明しており、大変参考になります。